

代表質問

鳥取県議会自由民主党



入江 誠 議員
選挙区 東伯郡

石破新内閣への期待

問 第2次石破内閣が発足し今後の地方創生促進の加速を期待するが①本県の地方創生と関連施策②防災体制の強化③高規格道路の整備促進、国の総合経済対策を踏まえた本県の地方創生について伺う。

答 ①会計年度任用職員という勤務形態以外にも、正規の短時間雇用が導入できないか検討したい②避難所の設営のあり方を市町村と協議し、地域防災計画の練り直しなど防災庁構想に期待したい③米子・境港間の高規格道路では、次の計画段階評価の段階に進むよう強気に働きかけを続けたい。

本県の価値創造戦略

問 ①国際航空路線拡大を受けた

産業・観光振興について伺う②東郷湖羽合臨海公園の利活用について伺う。

答 ①中国が石破総理の交渉で一月以内のビザ免除となった。大山乳業のアイスクリーム・ヨーグルトの航空輸送を検討②燕趙園の無償化実証実験の成果を見て方向性を見定める。

持続可能な農業施策

問 ①本県産品の研究開発体制は②和牛肉質日本一の復活を③(1)梨選果場施設の再編は③(2)梨生産団地の新規開発は。

答 ①研究開発に、梨においては、新甘泉20年・いちごにおいては、とつておき20年・星空舞も30年かかり、非常に重要であり、現場に基づいた取組を強化していく②鹿児島全国和牛能力共進会では、肉質検査技術で、BMS(※)10と見込んだのがらだったなど予測を外した。試験場や関係者を含めブラッシュアップし、難点を克服した北海道全共としたい。また役に立つ畜産試験場として、今後着実

な整備を進めていく。③(1)統合するかどうかも含め考えていく段階にあり、国の助成制度を要求しながら、県の方でも支えていくことが大切だと思う③(2)団地については効果があるので、現場の声を踏まえて展開を強めていければと思っている。

地域共生社会づくり

問 ①PTA組織の会員数減少の影響は②県民の安心・安全の確保のため、②(1)特殊詐欺の防止②(2)地域医療情報連携システムについて伺う。

答 ①(教育長) PTA活動は、子ども達にとって一番身近な支援方法であり、県のPTA連合会と歩調を合わせていく②(1)(警察本部長) あらゆる媒体を活用した注意識喚起をし、新たにSNS型の増加を踏まえバナー広告などを使っていく②(2)全国医療情報プラットフォームが作られると思われる。

人口減少社会への対応

問 ①上下水道の維持に関して、①(1)鳥取県水道広域化プラン①(2)鳥取県汚水処理広域化・共同化計画について伺う②地域活力の維持に関して、②(1)女性活躍の推進に向けた取組②(2)移住・定住の促進

②(3)高校魅力化の推進②(4)県史編さん②(5)空き家対策②(6)淀江産業廃棄物処分場計画について伺う。③共助交通・ライドシェアなどの新たな交通について伺う。

答 ①(1)ソフト面で水質検査や、中部における給水装置の事業者の登録など共同化プランの具体的検証・検討が始まっている①(2)国交省に上下水道支援広域化対策の要望活動している②(1)男女共同参画推進企業・ファミボス宣言企業の協力をいただき進みつつある②(2)活躍の場があることをしっかりと若い方に届くようにしたい②(3)(教育長) 寮も含めて、住環境の整備を地元自治体と一緒に取組みを進めていく②(4)新年度に向けて再起動させることを真剣に検討する②(5)令和2年に県の司法書士会と空き家対策の連携協力協定を結んでおり、制度の具体的設計を作る②(6)振興計画を具体化し、事業者を監視監督しながら、丁寧に地元に向き合っていきたい③国交省の中野大臣は、地方創生の基本的なプラットフォーム・ステージは地域交通にあると発言。地方創生2・0に資するよう鳥取からモデルを広げていきたい。

(※)用語解説は7ページに掲載しています。